

4 65歳以上の患者の入院早期の栄養ケアアセスメント実施割合

指標の説明・定義

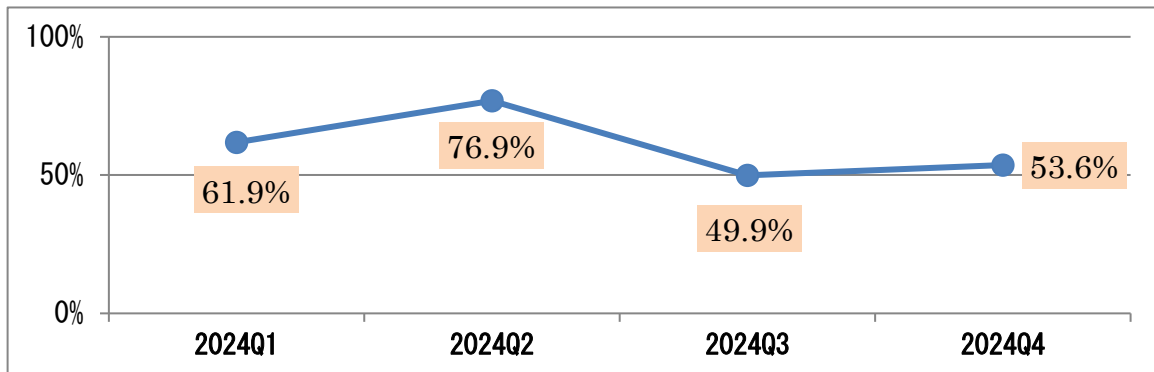
栄養管理は治療の基盤であり、特に高齢者の栄養管理は入院中の治療やリハビリテーション訓練だけでなく、退院後の生活にも影響を与えます。早期に低栄養リスクを評価し適切な介入をすることで、在院日数の短縮、予後改善につながります。

※「日本医療機能評価機構HP」より引用

分子 分母のうち、入院後 48 時間以内に栄養アセスメントが実施された患者数

分母 65 歳以上の退院患者数

結果



	2024Q1	2024Q2	2024Q3	2024Q4
分子	1,006 人	1,220 人	843 人	869 人
分母	1,626 人	1,587 人	1,689 人	1,620 人

※2024 年より「京都大学医療経済学分野 QIP」に追加された指標であるため、2024 年のデータのみを掲載しています。

※2024Q1 : 2024 年 4 月～6 月 3 ヶ月ごとの数値を算出しています。